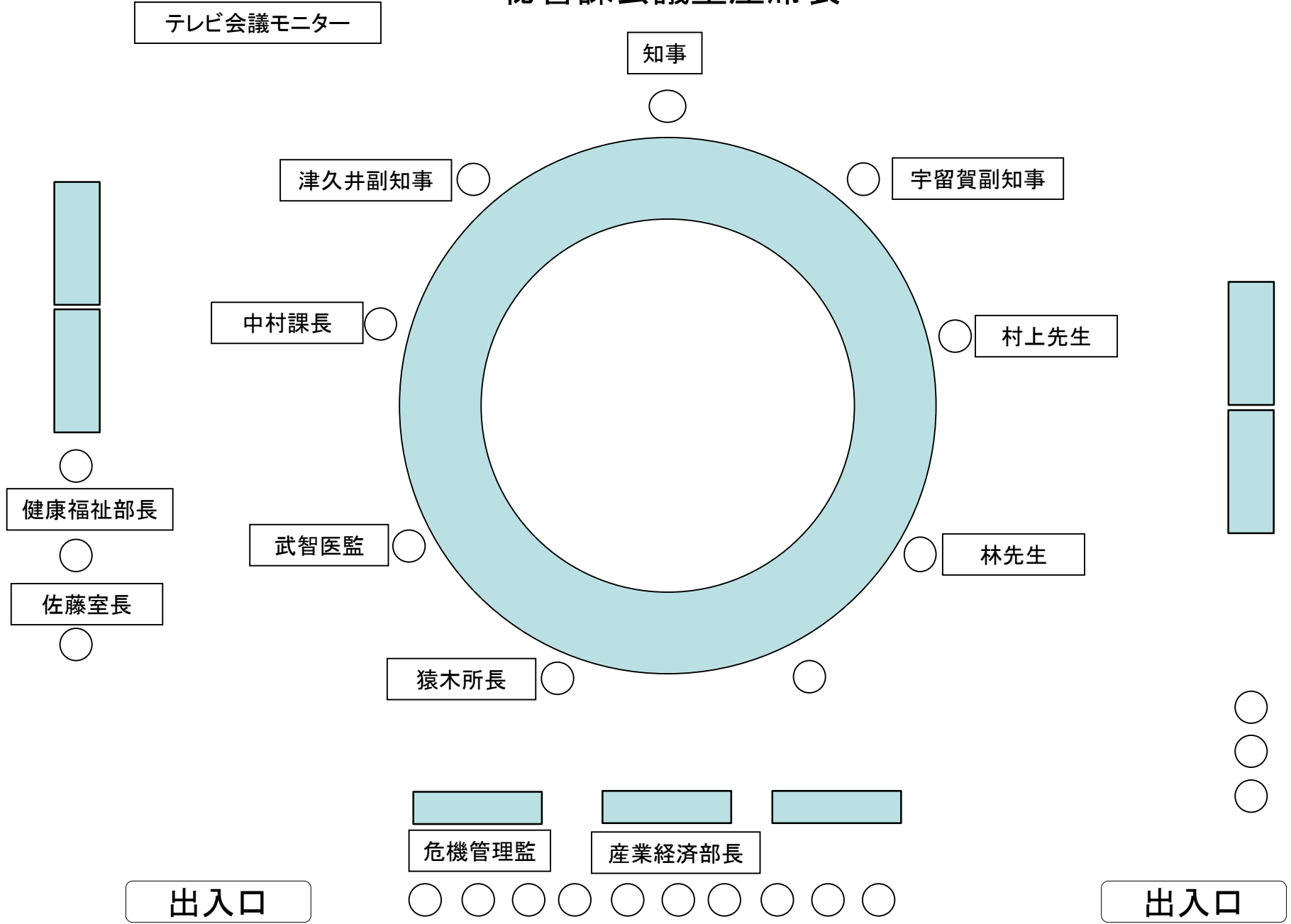


秘書課会議室座席表



<警戒度と行動基準> (修正前:下線部修正予定)

警戒度	個人			事業者		【参考】 学校
	外出	県外移動	イベント	休業等	勤務形態	
4	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大の恐れのある業種の施設等への休業要請や営業時間の短縮要請 ・高齢者施設や病院等での面会の禁止 	テレワーク(7割目標)、時差出勤等を強く推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況等に応じて学校単位もしくは地域や全県で休業等(部活自粛)
3	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策がとられていない施設等への休業要請 ・高齢者施設や病院等での面会の禁止 	テレワーク(5割目標)、時差出勤等を推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・学校単位で分散登校、授業短縮、時差登校等(部活一部制限) <p>ただし感染状況等によっては通常登校</p>
2	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設や病院等での直接面会は十分注意(オンライン面会等の推奨) 	テレワーク(3割目標)、時差出勤等を推奨	通常登校 ただし感染状況等に応じて学校単位で分散登校等
1	○	○	△		テレワーク、時差出勤等を推奨	通常登校

※1 全段階で「新しい生活様式」を実践、多様な感染防止対策(業界ごとの感染防止ガイドラインなど)を徹底

※2 感染状況や国の基本的対処方針に基づき、部分的に上位の警戒度の要請等を行う場合あり

<行動基準 個人 修正(案)>

警戒度	個人		
区分	外出	県外移動	イベント
4	×	×	×
3	△ 自粛(生活に必須なものを除く)	△	△
	・3密となるリスクが高く、感染防止対策がとられていない場所へは外出自粛 ・高齢者や基礎疾患者は外出自粛	感染の拡大している都道府県への不要不急の移動は自粛	別表による
2	△	△	△
	・3密となるリスクが高い場所への外出は十分注意 ・高齢者や基礎疾患者は外出を十分注意	感染拡大都道府県は注意(特に拡大している場合は自粛)	別表による
1	○	○	△
			別表による



警戒度	個人		
区分	外出	県外移動	イベント
4	×	×	×
3	△ 自粛(生活に必須なものを除く)	△	△
	・3密となるリスクが高く、感染防止対策がとられていない場所へは外出自粛 ・高齢者や基礎疾患者は外出自粛	感染拡大都道府県は注意(特に拡大している場合は 慎重に判断)	別表による
2	△		△
	・3密となるリスクが高い場所への外出は十分注意 ・高齢者や基礎疾患者は外出を十分注意		別表による
1	○		△
		別表による	

<4段階の警戒度と行動基準> (修正後)

警戒度	個人			事業者		【参考】 学校
	外出	県外移動	イベント	休業等	勤務形態	
4	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大の恐れのある業種の施設等への休業要請や営業時間の短縮要請 ・高齢者施設や病院等での面会の禁止 	テレワーク(7割目標)、時差出勤等を強く推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況等に応じて学校単位もしくは地域や全県で休業等(部活自粛)
3	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策がとられていない施設等への休業要請 ・高齢者施設や病院等での面会の禁止 	テレワーク(5割目標)、時差出勤等を推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・学校単位で分散登校、授業短縮、時差登校等(部活一部制限) <p>ただし感染状況等によっては通常登校</p>
2	△	感染拡大都道府県は注意(特に拡大している場合は慎重に判断)	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設や病院等での直接面会は十分注意(オンライン面会等の推奨) 	テレワーク(3割目標)、時差出勤等を推奨	通常登校 ただし感染状況等に応じて学校単位で分散登校等
	△		別表による			
1	○		△	別表による	テレワーク、時差出勤等を推奨	通常登校

※1 全段階で「新しい生活様式」を実践、多様な感染防止対策(業界ごとの感染防止ガイドラインなど)を徹底

※2 感染状況や国の基本的対処方針に基づき、部分的に上位の警戒度の要請等を行う場合あり

<行動基準一覧表>(修正後)

警戒度	個人	事業者	【参考】 学校
4	<ul style="list-style-type: none"> 外出自粛 ※通院、食料買い出しを除く 都道府県をまたいだ移動自粛 イベント開催自粛 	<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大の恐れのある業種の施設等への休業要請や営業時間の短縮要請 テレワーク等を強く推奨(目標7割) ※時差出勤、自転車・自動車通勤 高齢者施設や病院等での面会禁止 イベントの開催自粛 	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況等に応じて、学校単位もしくは、地域や全県で休業等 (部活自粛)
3	<ul style="list-style-type: none"> 3密となるリスクが高く、感染防止対策がとられていない場所へは外出自粛 高齢者や基礎疾患者は外出自粛 感染の拡大している都道府県への移動は注意(特に拡大している場合は慎重な判断) 一定条件のイベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> 感染防止対策がとられていない施設等への休業要請 テレワーク等の推奨(目標5割) ※時差出勤、自転車・自動車通勤 高齢者施設や病院等での面会禁止 一定条件のイベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> 学校単位で分散登校、授業短縮、時差登校等 (部活一部制限) <p>ただし感染状況等によっては通常登校</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 3密となるリスクが高い場所への外出は十分注意 高齢者や基礎疾患のある人は不要不急の外出を十分注意 感染の拡大している都道府県への移動は注意(特に拡大している場合は慎重な判断) 一定条件のイベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク等を推奨(目標3割) ※時差出勤、自転車・自動車通勤 高齢者施設や病院等での直接面会は十分注意(オンライン面会等の推奨) 一定条件のイベント開催 	<p>通常登校</p> <p>ただし感染状況等に応じて、学校単位で分散登校等</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や基礎疾患のある人も社会との交流が可能 ※物理的距離の確保、距離の確保が難しい機会は極力減らす 全ての人が、混雑した場所には出来るだけ行かないようにする 感染の拡大している都道府県への移動は注意(特に拡大している場合は慎重な判断) 一定条件のイベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク等を推奨 ※時差出勤、自転車・自動車通勤 高齢者施設や病院等での面会可能(オンライン面会等の推奨) 特段の規制なく、就業が可能 一定条件のイベント開催 	<p>通常登校</p>

※1 全段階で「新しい生活様式」を実践、多様な感染防止対策(業界ごとの感染防止ガイドラインなど)を徹底

※2 感染状況や国の基本的対処方針に基づき、部分的に上位の警戒度の要請等を行う場合あり

＜警戒度移行の判断基準 ①客観的な数値＞

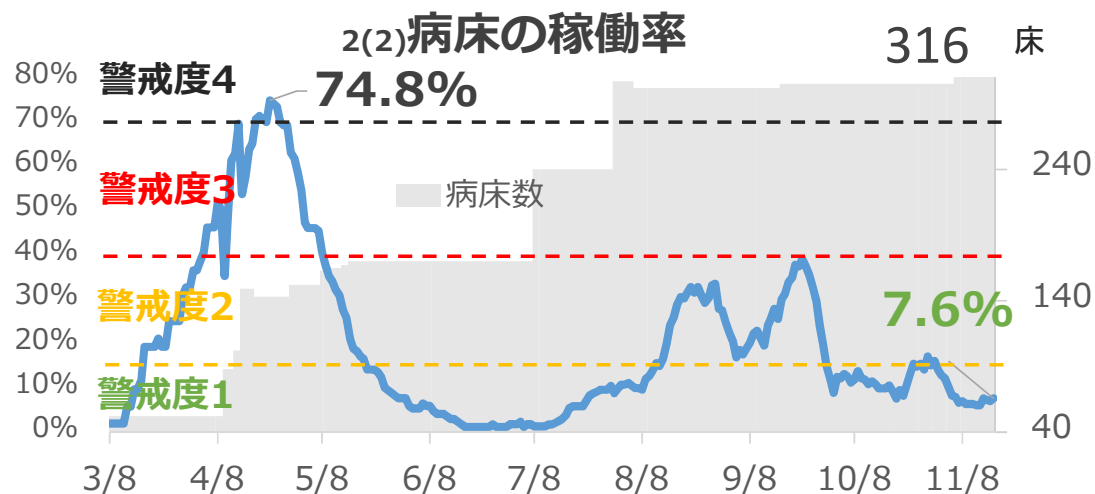
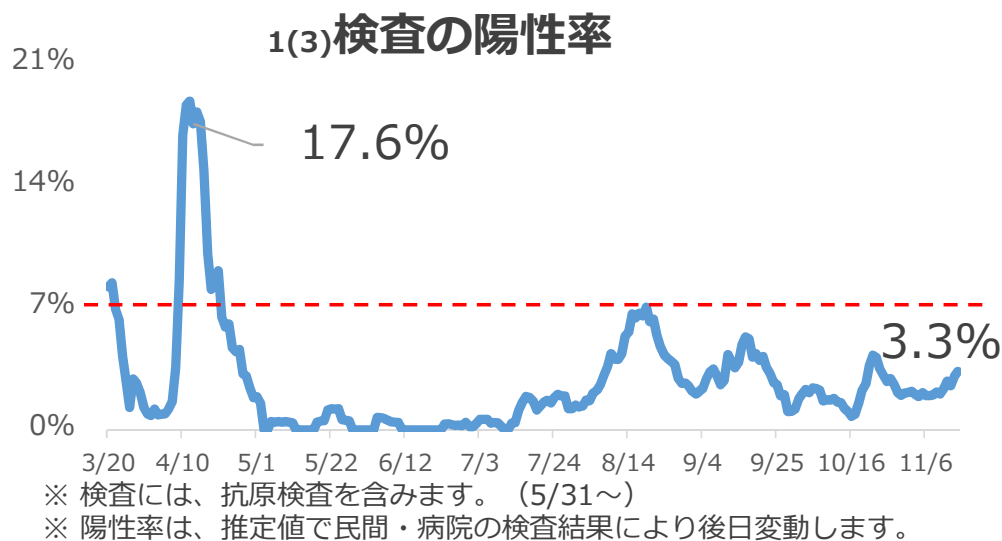
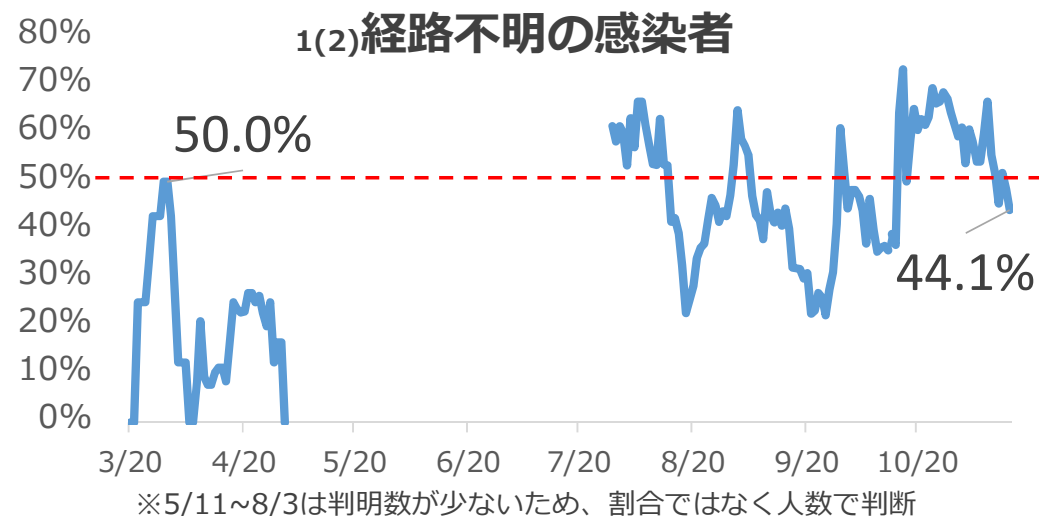
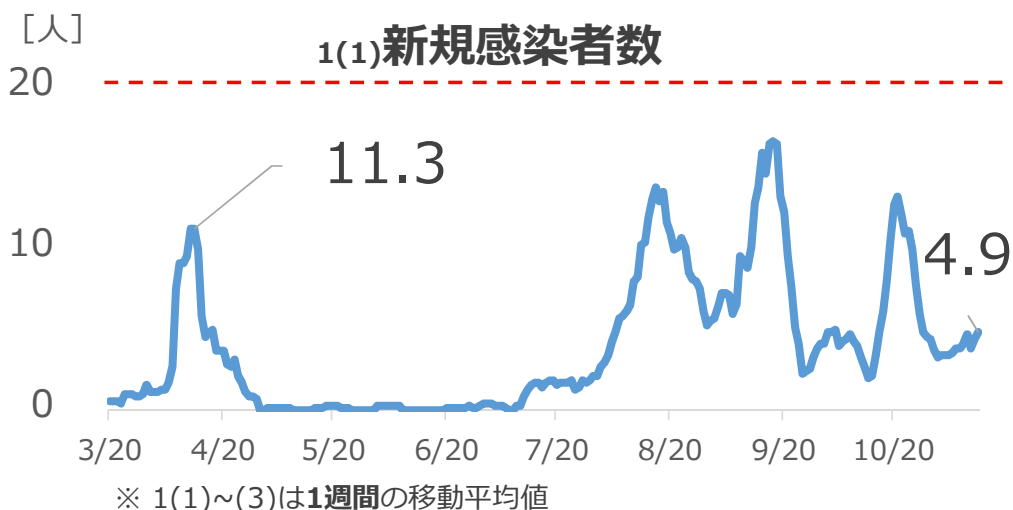
項目		内容※	現在値※ (11/16)	過去最高値 (7月以前)
1 感染状況	(1)新規感染者数	平均 20 人/日	4.9 人	11.3 人
	(2)経路不明の感染者数	感染経路不明 50 %	44.1 %	50.0 %
	(3)検査の陽性率	平均 7 %	3.3 %	18.9 %
2 医療提供体制	(1)重症例への診療体制	①人工呼吸器使用 1 / 2	23台中 2 台	—
		②うちECMO使用 1 / 3	9台中 0 台	2
	(2)病床の稼働率 (316床中)	警戒度1 15 %未満 警戒度2 15 %以上 警戒度3 40 %以上 警戒度4 70 %以上	7.6 %	74.8 %

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備の進展に合わせ、基準も変動します。

※1の(1)～(3)は**1週間**の移動平均。

※陽性率は、推定値で民間・病院の検査結果により後日変動します。

判断基準 客観的な数値の推移



警戒度移行の判断基準(②総合的な状況)について

健康福祉部 R2.11.17

項目	内容	評価	状況
1 感染 状況	介護施設等の状況	◎	【介護施設等の発熱モニターの状況】 ・対象 県内 全施設 の入居者・職員（県及び市町村所管）
	近隣都県の感染状況	△	【実効再生産数】 ・群馬大学大学院 内田准教授による推定値(11/14時点) 東京都 1. 09 群馬県 1. 03 ・参考：東洋経済オンラインによる推定値（11/15時点） 東京都 1. 35 群馬県 1. 20
	群馬県の感染状況		群馬県の実効再生産数が1未満程度であること
	入院状況	◎	【 退院者の平均在院期間 】 8月 10. 0日 9月 8. 8日 10月 9. 3日
	クラスターの発生状況	◎	【直近のクラスター発生状況】 9月 日本発条(株)群馬工場 10月 大泉警察署
2 医療 提供 体制	PCR検査件数	◎	【PCR等検査可能医療機関数（11/15現在）】 341か所（診療・検査外来 312か所 帰国者・接触者外来 29か所） ※参考 検査外来（旧地域外来・検査センター） 13か所
	院内感染制御	◎	【PPEの備蓄】 ・新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）において、備蓄状況をモニター中
	一般医療への影響	◎	【一般医療への影響（11/16現在）】 ・診療や入院等の延期を行っている病院があるものの、 患者への治療上の（大きな）影響は出ていない。 （感染症指定病院及び協力病院等に対するアンケート調査結果）
	疑似症患者への医療等	◎	【疑似症患者の入院者数（11/15現在）】 0人
	軽症者等の宿泊療養施設の確保等	◎	【宿泊療養者数/室数（11/16現在）】 15人/150室運用・1300室確保 8/5から150室を再稼働